

# 双塔



新潟教会

2013年4月

No. 299

## 主の復活をお祝いする

主任司祭 江部 純一

ご復活おめでとうございます。また、この復活祭に洗礼・堅信・初聖体を受けられた皆さん、おめでとうございます。神の息吹に満たされて、日々新しく歩んでください。さて、主イエスの復活を祝うわたしたちは「日々新たに生きる」者である。いつまでも決して自分を変えようとしないう生き方ではなく、「主によって変えられ」「罪に死にキリストに生きる」生き方を始める。昨日までの自分に死に、明日からの自分に生きること、失われていた状態からキリストによって見いだされ、生きる意味を見いだしていく生き方へと変えられていく。ご復活のよろこびを、様々な面から感じ取り、味わってみたい。

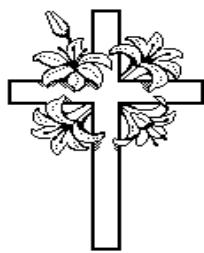
あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれられないようにしなさい。あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄光に包まれて現れるでしょう。                      コロサイ 3・1-4（復活の主日の第二朗読）

幸せなんて言葉もあるが    人それぞれに秤が違う    人は人だしあんたはあんた    別に張り合う事などないさ    雨が降る日は天気が悪い    雲には雲の行先がある    空は確かに広いけれど    心の広さと比べてみるかい    だから HAPPY BIRTHDAY HAPPY BIRTHDAY    昨日迄の君は死にました    おめでとう    おめでとう    明日からの君の方が 僕は好きです    おめでとう  
(さだ まさし「HAPPY BIRTHDAY」歌詞2番)

春は入学・入社・転勤など異動の季節である。わたしもこの復活祭後に異動する。自分が卒業した中学校のすぐそばの教会で働くことなど、考えもしなかった。そもそも洗礼の恵みをいただき、教会で働くこと自体が、予想もしなかった出来事である。最近のはやりの言葉で言えば「想定外」のことである（わたしはこの語が嫌いである。自分中心の物事のとらえ方や自分の規定した計画の実現、という意識がそこにあるから…）。それだけに新潟の皆さんと過ごしたこの四年間は、大きな出会いと恵みの機会であった。至らないこと、行き届かないことばかりであり、皆さんとゆっくりお話する機会がもう少しほしいと思う。それでも、出会いは別れによって絶たれてしまうことなく、何年・何十年たっても再会した時には、一瞬のうちにその時のことを思い出し、たちまちのうちに互いを理解しあうことができるものである。

ここから感謝を申し上げます。またお会いしましょう。

■祈りの集い『世界祈祷日』 — 2013年3月1日(金) 13:30~14:30 —



「こんにちは。こんにちは。こんにちは」健やかな声が聖堂に響き、『世界祈祷日』が行われた。新潟教会に、日本キリスト教団など市内 12 教会から約 80 人が集まり、——私が旅人だった時、あなたはあたたかく迎えてくれた——をテーマに祈り、最後に「キリストの平和」を歌って幕を閉じた。会場は持ち回りで、来年は寺尾教会。【豆知識】『世界祈祷日』とは、女性が中心となり世界中で毎年3月の第一金曜日に、同じテーマにそって祈り、キリストの愛を世界中に広める祈りの集い。1887年、アメリカの女性たちが、抑圧されている移住者などのために祈ったことが始まり。

■国際協力部で雛祭り — 2013年3月3日(日) 13:30~ —

毎月第一日曜日は英語ミサ。3月の参加者は約40名。

今年は雛祭りと重なり、ミサ後の『お茶会』の研究室には、手づくりのデコレーションケーキが用意された。外は風花が舞っていたけれど、室内は笑顔の花が咲き、「灯りをつけましょ〜♪」が歌われ、「女子会」ムードいっぱい！【豆知識】英語ミサが始まったのは故・佐藤敬一司教のころ。最初は、外国人旅行者のためのミサで、担当司祭は都合のつく司祭が行っていた。その後、ラウル師、フェルディナル師、現在のナジ師と続いている。三森師の呼びかけで手伝いのスタッフが集まり、国際協力部ができた。

■四旬節黙想会 — 2013年3月9日(土) 15:00~16:00 & 10日(日) 9:00~9:30 —

黙想会第1日目は、江部神父様がルカ福音書「放蕩息子」のたとえを取り上げ、放蕩息子は弟だけではなく、父と共に住みながらもその係わり方において、兄も弟と同じように放蕩息子ではなかったかと問われた。講話後、参加者は「ゆるしの秘跡」に与かった。

続いて2日目は、モーセの召命について話され、人は土から造られ、神の息で命を吹き込まれた。私たちは一生を終えるとき、息を神に返すと話された。

この日も、ミサ後、「ゆるしの秘跡」が行われた。



江部神父様

■東日本大震災 犠牲者追悼・復興祈願ミサ 司式 菊地司教様 新潟教会

— 2013年3月10日(日) 9:30~ —

東日本大震災から2年。菊地司教様司式の犠牲者追悼と復興祈願のミサが捧げられた。菊地司教様は説教の中で、「絆の回復」ではなく、『新たな絆を生み出す』ことが大切と強調。悪天候の中、多くの信徒が集い、聖堂内は犠牲者を悼む祈りに包まれた。

## 《みんなの広場》

## 投稿 募集!

この広場は、みなさんが参加し、作り、利用するコーナーです。(探しもの/ 教えて/ 私の趣味/ 写真/ そっとひと言 大歓迎!!)

ご存知ですか?!

新しい教皇様は  
「フランシスコ1世」  
それとも  
「フランシスコ」?

新教皇は「教皇フランシスコ」が正式名称です。

それは、歴代教皇で「フランシスコ」と名乗った教皇がひとりもいなかったからです。

今後、「フランシスコ」を名乗る教皇が誕生したとき、はじめて今の教皇は「フランシスコ1世」と呼ばれます。

欧州以外から教皇様が選出されるのは、グレゴリウス3世教皇以来1271年振りだそうです。(長生きしましょう)

## 《2013年4月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当 司祭
月曜日 (不定期)	午前10時～	主日の聖書	三崎神父
金曜日 (毎週)	午後7時～	聖書クラス	ナジ神父

- ※ 「カトリック教会の教え」は、しばらく休みます。
- ※ 金曜日の「聖書クラス」は開講できない日がありますので、お問い合わせください。
- ※ 講座に参加を希望される方は、担当司祭にご連絡ください。

### 【編集後記】

月刊「双塔」4月号から題字を変更しています。  
題字は「江部神父様」による自筆の筆字です。  
東京教区に戻られる神父様にとっては良い思い出となり、新潟教会にとって財産となりました。  
また、新潟教会は貧しく、江部神父様に著作権使用料を支払うことは出来ませんので、ご了承の程宜しくお願いします。  
4年間、ご指導いただきまして、ありがとうございました。

広報部



